



わ か ば

2019. 1. 26
第18-37号
文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

重点目標 一人一人が輝く教育 ～期待登校・満足下校～

ノートに書いて学び深める・・・思考する活動へ

写真は、中学部1年生の数学のノートで、実に細やかな、そして見やすいノートです。「私は・・・」と、どのように考えたかを書いているところです。

日本の中学校では、先生が用意したワークシートに記入していくことが多いのですが、中学部1年はしっかりとノートをとって学ぶ学習が展開されています。

書く過程を通して、自他の考えを記したり、調べた数値などを書いたりし、自分の考えを明確にしています。他の生徒たちも同様によくノートをとっていました。書く活動を通して、しっかりと思考をしていることが、よくわかりましたのでご紹介しました。



※写真掲載の理解を得ています。

「今年の抱負」の紹介・・・ ドールズ 里彩さん(中学部3年)、渡邊 令偉くん(高等部3年)

今回は、中・高等部代表生徒2名の「今年の抱負」をご紹介します。

中学部3年
ドールズ 里彩

私は今年の目標に「言行一致」という四字熟語を選んだ。「言行」は、口で言うことと行動、「一致」は同じものであること。たとえば、「彼は言行一致で、なんでもやる。」という使い方をする。

この四字熟語を選んだ理由は、去年を振り返るとやりたいことを言うだけで、実際にやった事が少なかつたからである。私は何でも「あとでやる」と言う癖があるので、今年は「言行一致」を目標にすぐに始めることを心がけたいと思う。

去年の抱負として、私は「温故知新」という四字熟語に決めたが達成できなかった。高校に入って、中学と違ってちゃんと課題は期日内に出そうと思ったけど、意外と難しい。好きな科目の宿題はすぐに終わり、嫌いなのは後回しにしてしまう。

今年は好き嫌いを考えず、宿題は先生のためではなく、自分のためだと、「言行一致」ですぐにやるように心がけたいと思う。

高等部3年
渡邊 令偉

今年は、僕は家を出て、大学に行きます。家族や友達とは離れ、たくさんの人に出会い、今まで行っただけの町に住むことになりました。

生活が完全に変わるので、不安は色々あります。必要最低限のことだけをして、簡単に済ませてしまおうと思うこともあるでしょう。でも、バンドの活動をしっかりと続けて、面倒臭いことでもやりとげようと思えます。

今年はずっと、社交的になれるよう、頑張ります。



ドールズさん(左)、渡邊くん(右)



児童生徒の作品紹介 30

今回は、小学部2年生の年末を題材にした作文と中学部1年生の読書感想文をご紹介します。
校長 信國 寿

2019年カウントダウン
竹内 美月

わたしは、ラスベガスにいって
としこしをしました。どうしては、
くるまをとおさないようにしてい
ました。わたしは、そこを歩きま
した。三、二、一とかぞえて、か
ぞえおわると2019年になって
花火が、空にあげました。すご
とぎれいでした。あとマジックの
おみせにもいきました。みせのて
んいんさんが、なにもつかわずに
カードがうマジックを見せてお
れました。わたしは、そのマジッ
クが、すごいとおもい、そのマジ
ックセツトをかいました。

2年 竹内 美月

お兄ちゃんとシアトル
山王 大輔

及休みに高生のお兄ちゃん
友だちがポートランドに来ました。
みんなでシアトルへおそびに行き
ました。夜はホテルにとまって、
近くのスピースニードルで一月一
日の五びょう前から、まわりの知
らない人たちといっしょにカウン
トダウンをしました。
一日になった時に花火が上がって
きれいでした。まわりの知らない
人たちも盛り上がり、いて楽しか
かったです。
シアトルは遠くて大へんだ。たけ
ど、また行きたいです。

2年 山王 大輔

て	し	と	に	し	の	た	マ	ガ	バ	レ	し	の	ぎ		
す。	よ	て	帰	た	ダン	。そ	マ	ガ	く	コ	た。	家	ぎ		
	に	も	り	そ	ス	の	マ	の	の	ヤ	い	へ	よ		大
	あ	集	ま	し	を	あ	マ	お	人	、	っ	な	ね		ミ
	ず	し	し	な	し	と	口	お	形	尤	し	つ	の		を
	の	お	た	っ	、	に	の	お	で	多	ょ	み	ち		が
	が	ま	た	み	お	、	お	お	あ	ス	に	ヤ	が		ミ
	ま	ち	の	ち	絵	フ	し	を	そ	ライ	、	ん	が		を
	あ	ど	で	や	書	オ	を	食	び	ム	木	が	ぎ		に
	し	お	ま	く	き	ト	べ	べ	ま	や	の	き	て		わ
	(い)	い	た	は	を	ナ	ま	い	し	、	お	く	あ		た
			い	家	し	イ	し	い	あ	う	ち	あ	ま		し
					ま	ト	し	い	そ	の	の	ま	し		し
					し	ト	し	い	そ	の	の	ま	し		し
					し	ト	し	い	そ	の	の	ま	し		し
					し	ト	し	い	そ	の	の	ま	し		し
					し	ト	し	い	そ	の	の	ま	し		し
					し	ト	し	い	そ	の	の	ま	し		し
					し	ト	し	い	そ	の	の	ま	し		し
					し	ト	し	い	そ	の	の	ま	し		し
					し	ト	し	い	そ	の	の	ま	し		し
					し	ト	し	い	そ	の	の	ま	し		し

2年 ワルター 小春

た	す	く	な	い	来	は	か	え	お	用	い	で	十							
と	つ	ら	り	く	ま	お	か	て	兄	の	き	室	二							
思	か	い	ま	う	せん	お	し	も	ち	内	ま	の	月							
い	れ	か	し	ち	んで	兄	い	ら	ん	の	し	ク	三							
ま	た	べ	た	に	し	と	い	ま	お	ク	た	ク	十							
す	け	の	ほ	だ	た	お	ま	し	父	ク	く	ク	日							
す	ど	ぼ	く	ん	れ	父	し	た	さ	ク	ラ	ラ	曜							
す	自	た	合	出	ん	さ	さ	。フ	い	イ	イ	日	、							
す	分	と	計	し	う	さ	い	ぎ	に	ミ	ミ	、	家							
す	が	思	三	う	し	い	し	に	お	ン	グ	そ	そ							
す	ん	も	十	て	出	し	。お	お	兄	グ	に	く	く							
す	ば	い	回	に	て	。お	ぎ	ぎ	と	行	行									
す		ま				ぎ	に	お	お	に										
す						に	お	ぎ	お	に										
す						に	お	ぎ	お	に										
す						に	お	ぎ	お	に										
す						に	お	ぎ	お	に										
す						に	お	ぎ	お	に										
す						に	お	ぎ	お	に										
す						に	お	ぎ	お	に										
す						に	お	ぎ	お	に										

2年 安藤 響



誰もがアメリカならではの冬休み、年越しの過ごし方ができて、本当に良かったですね。

カウントダウンは見知らぬ人と心が一つになる瞬間です。カウントダウンをしている時は、平和で穏やかな希望に満ちた年となるようにと願いながら、数えていったことでしょうか。ラスベガスもシアトルもとってもきらびやかな、そして多くの人でにぎわったことでしょうか。

仲良し友達と一緒に過ごす時は、本当に時間が経つのを忘れてしまうほど、熱中するものです。食べたり話したり遊んだりする時間が、アッとと言う間に過ぎたようですね。

ロッククライミングは、なんとなく下から見たら高くはないように見えても、いざ登ると結構な高さがあり、実に怖そうです。一生懸命にチャレンジしたことがよくわかります。



【中学部一年 読書感想文】
「坊っちゃん」

竹内 祐貴

夏目漱石が書いた「坊っちゃん」では、周りに「ろくな者にならない」と町内で爪弾きされている坊っちゃん、彼をかわいがる召し使いの清との絆を語っている。

この話を読んで僕は、自分と姉の絆について考えさせられた。どんなにけんかをしていざとなると姉は常に僕のことを思っているからだ。勉強が難しく、両親に怒られるのが怖くて、助けが求めづらい時には、姉がなにも言わずに助けしてくれる。勉強に限らず、姉にはいつもたよれる。

筆者は、この話を通して、人が独りぼつちを感じる時でも、誰かがいつもその人のことを気にしているというメッセージを読者に伝えようとしていると思う。学校などで助けを求める人がいたら、無視をしないで、僕が姉から助けられていた時の嬉しさを他の人にも分け合いたいと思う。

図書館に行く機会があったら、「坊っちゃん」の本全体を読みたいと思う。



何と言っても姉弟のつながりは深く強いものがあります。一般的に中学時代の男子は、口数が少なくなり、気持ちをあまり表に出さないのが、この読書感想文を読まれたお姉さんやご両親は、このように考えていた、思っていてくれたことに、きっと喜ばれることでしょう。読書を通して、姉弟の絆や他者へのいたわりの心を育てていることに感心しました。

校長参観授業の紹介・・・2年2組、中学部1年

【2年2組 国語科 河合先生】

単元名「なかまのことばとかん字」では、上位語と下位語に分けて、なかま分けをします。例えば、上位語が「家の人」で、下位語が「父」「母」「兄」「妹」等です。

「一日」や「家の人」「お金」などのたくさんのカードが事前にペア用に用意されていました。用意するのに、相当な時間がかかっていることが分かります。

ペアになって、なかま分けしたり、その理由を話し合ったりする「調べ活動」や「話し合い活動」が仕組みられていました。前に出て来て「説明する活動」もあり、よく練られた学習展開であると感心しました。



【中学部1年 数学科 数学担当 松丸先生】

単元名「資料の活用 代表値の散らばり」では、小学部で習った「平均値」に加えて、新たに「中央値」「最頻値」「階級値」の意味と求め方を、課題を基に学習します。課題は、生徒がコーチとして、水泳選手を2名のうちから1名を選ばねばならず、そのために2名の水泳記録を分析して判断、決定することです。

チャレンジ的な課題を与えられた生徒たちは、どちらか1名を選出しようと、数値的な根拠を求めて、平均値や代表値などを、「個人活動」からペアなどでの「話し合い活動」「説明する活動」などを経ながら学習を深めていきました。的確な指示や丁寧な机間巡視、奨励賞賛が随所に見られたよい授業でした。



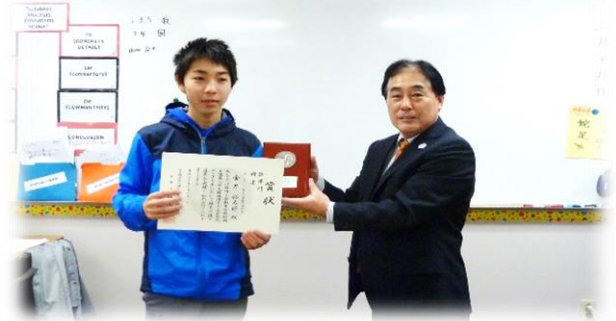
今回は、第39回海外子女文芸コンクールの「詩の部」から2点、ご紹介します。

※海外子女教育11 No549からpdf転写

文芸作品コンクールの賞状と盾が届きました・・・中学部1年の学級で贈呈式(1/19)

ようやく金井裕太郎君の賞状と盾が届きましたので、授業開始前に中学部1年の教室で、賞状を読み上げ渡しました。同級生の温かな賞賛の拍手もあり、本人は照れくさそうな笑みを浮かべていました。

もう一人の前原美優さんの賞状等は、早々にご本人に送らねばと思っています。



文部科学大臣賞

びょういんへ

ケルン補習授業校(ドイツ)

小二 平林 知恩

「よいしょ、よいしょ。」

おにいちゃん、じてん車をこいだ。

おとうさんが、入っているびょういんへ行くんだ。

リュックサックには、おかあさんからたのまれた、とけもの。

「よいしょ、よいしょ。」

林を二つぬげると、びょういんだ。

林の中はひんやり、うすぐらい。

じてん車からてつのおい。

こどりたちもいそがしそう。

雨がくるんだ。

「よいしょ、よいしょ。」

かしの木が、大きな手を広げているよ。

木のほりしいな。

タンポポもいっぱいさいているね。

おとうさんにつんでいってあげたいな。
空が半分くろくなっちゃったよ。
いそげ、いそげ。

「よいしょ、よいしょ。」

林をぬけるとアイスやさん。

アイスをたべるって、やくそくだったんだよ。

たのしみにしてたんだけどな。

がまん、がまん。

「よいしょ、よいしょ。」

いそいで、いそいで。

雨がくるまえに、びょういんについたよ。

おとうさん、まってるかな。

ちよつとだけ、なみだが出そうになっちゃった。

日本児童教育振興財団賞

テニスボールのゆめ

デュッセルドルフ日本人学校(ドイツ)

小三 前田 克斗

ぼくはボール テニスボール

ぼくには 友だちや兄弟 家族がいる

ぼくはちよつとかたいボール

友だちにはやわらかいボールや

とつてもやわらかいボールがいる

かたくて、黄色いのがお母さんとお父さん

みどり色はお兄ちゃん

赤くて大きいのが妹で

黄色いスポンジボールが弟だ

ぼくはオレンジ色
小学生にうたれることが多い
上手くうってもらえないと
ネットにつかまってしまう

ぼくはちボールのゆめは

イギリス フランス

オーストラリア アメリカの

大きな大会のけっしょうせんに
でることだ

なぜかって

大きなかん声の中でとび回るのは

とても気もちがいいんだ

それに

おうえんが大きくなると

どんどん どんどん

はやくとべる

でも ぼくはまだ オレンジボール

もつとかたく黄色くなつて

このゆめをかなえるんだ

